

大阪毎日

北支ノ諸協定

北支那ハ日本ニトツテハ特殊地域デアル、コノ特殊性擁護ノタメニ支那駐屯軍モ、關東軍モ、日本外交當局モ全官民ヲアゲテ北支事態ニ切實ナ關心ヲ持ツテ來タノダ、コノ北支ノ特殊性ハ過去ノ戦争、事變ヲ契機トシ我カ忠勇ナル幾十萬ノ生靈ト、國家ノ名譽ヲカケテソノ都度締結サレタ條約、交換文ソノ他諒解等ニ依ツテ漸次形成サレ現在デハ名實トモニ明々白々ノ事實トナツテアルノダ、以下ソノ根據トナル北支諸協定ヲ解説スル

塘沽停戰協定

滿洲事變ノ繼續デアル皇軍ノ長城突破戰ニヨリ日本軍ハ昭和八年五月張學良氏ノ率キル舊東北軍、宋哲元氏ノ率キル第廿九軍等支那軍ヲ擊破シテ北平、天津ニ迫ツタ、コレニ依リ支那軍ハ停戰ヲ申込ミ河北省塘沽デ協定サレタノガコノ塘沽停戰協定デアル、即チ昭和八年五月三十一日關東軍代表岡村寧次少將ト國民政府軍事委員會北平軍事分會委

36欠

37

0047

員長代理何應欽氏代理熊斌氏ハコノ協定ニオイテ

(一) 延慶、昌平、高麗營、順義、通州、香河、寶坻、林亭鎮、寧河、蘆

台ヲ結ブ線ト長城線トノ中間地隔ヲ非武装地帯トスルコト

(二) 支那軍ハ同線ヲ越エテ前進セズマタ一切擾亂行爲ヲセヌコト

ヲ協定シタ、コノ地域ハ昭和十年十一月二十五日殷汝耕氏ニヨリ「冀

東防共自治委員會」トシテ生誕シ、國民政府ノ羈絆カラ脱シ冀東政府

トシテ獨立、日本、滿洲兩國ト特殊密接ナ關係アル政府トナツテオル

コレニヨリ北支河北省ノ一部ガ完全ニ日滿兩國ノ特殊性ヲ發揮シテキ

ルノデアアル、支那側ハ最近コノ明白ナ特殊協定ヲ無視シテ北支原狀復

歸ヲ口ニシ不法ニモ塘沽停戰協定ノ取消ヲ要求シテオタノデアアル

梅津・何應欽協定

昭和十年六月十日成立シ、コノ協定ハ

(イ) 河北省主席于學忠、憲兵第三團長蔣孝先兩氏ノ罷免

(ロ) 憲兵第三團、北平軍事分會、政治訓練所ノ北支撤退

(六) 河北省黨部ノ撤退

(二) 于學忠軍、中央軍ノ河北省撤退

(ホ) 排日秘密機關ノ絶滅

(ヘ) 排日ノ取締命令

以上ノ取極メテ當時ノ榆津駐屯軍司令官ト何應欽軍事分會委員長代理トノ間ニ調印サレタ、コノ協定ノ締結サレルニ至ツタ原因ハ昭和十年五月三日、天津日本租界ノ二名ノ親日支那人新聞社長ガ藍衣社員ニ依リ暗殺サレソノ他日本憲兵ガ狙撃サレタリ惡質ナ排日事件ガ繰返サレタノデコノ機會ニ徹底的ニ北支カラ排日ヲ一掃スルタメニ結ンダモノデ、コノ協定ニヨリ河北省内ニハ中央軍ハ勿論黨部、藍衣社、秘密機關ソノ他一切ノ排日ノ絶滅ヲ約束シタモノデアアルガ最近ノ支那側ニヨル北支事態、河北省事態ハコノ協定ニ明白ニ違反シテオルノデアアル

土肥原・秦德純協定

昭和九年十月張北事件、昭和十年一月、同六月ノ熱河省西方國境方面

0049

事件、同年六月ノ第二張北事件等ノ支那側ノ日本軍侮辱國境侵犯ニヨ  
リ昭和十年六月十八日當時ノ土肥原關東軍特務機關長ト秦德純察哈爾  
省主席代理トノ間ニ結バレタモノデ

(一) 滿洲國國境附近ヨリ宋哲元軍ノ撤退

(二) 排日機關ノ解散

ガ取極メラレタ、コレハ停戰協定地區ノ察哈爾省内ヘノ擴張デコレニ  
ヨリ停戰協定區域線タル河北省昌平ト察哈爾省内ノ赤城、獨石口ヲ結  
ブ線ト長城線トノ區域ガ特殊地域トナツタモノデ、コノ區域ガイハユ  
ル察北六縣トイハレ、コノ協定締結以來モ支那側ハ屢々コノ協定ヲ無  
視シテ不法行爲ヲ繰返シ最近殊ニ中央化工作ガハゲシカツタ

### 通車、通郵協定

北平奉天間ノ通車協定ハ昭和九年六月成立、同年七月一日カラ實施サ  
レテ居リ、通郵協定ハ昭和九年十二月成立、十年一月ヨリ實施サレタ  
今回ノ北寧鐵路ノ支那側ニヨル一方的運行停止ハコノ協定違反デナリ

屢々行ハレル通郵ノ不調滑ト信書開封、不足料ノ徴收コレマタ協定違反デアル

日支電信、電話協定

日支航空協定

天津、東京、天津、北平、滿洲、大連間ノ連絡航空——  
以上ハ最近ノ北支特殊性ヲ示ス諸協定デアアルガ滿洲事變前ノ協定ハ左  
ノ通りニナツテキル

北清事變ニ關スル最終議定書

一、圍匪事件ト大公使館區域

義和團事件ノ善後處理ニ關スル一九〇一年（明治三十四年）「北清  
事變ニ關スル最終議定書」第七條ニヨリ日本ハジメ各國政府ハ北平  
ニ大、公使館區域ヲ設立シ、コノ區域ニ大、公使館、警察權ヲ持テ  
支那人ノ居住ヲ認メテオナイ

二、同議定書第八條ニヨリ支那ハ大沽砲臺ト北寧鐵路沿線ノ諸砲臺ノ

0051

39 39

撤廢ヲ認メテオル

三、日本ハジメ各國政府ハ北平大、公使館區域及ビ北平、山海關、北寧沿線ニ駐兵權ヲ有スル

(コレ駐屯軍ノ彈壓治罪權ナリ)

天津遼附日清交換公文

一九〇二年(明治三十五年)コレハ北支ノ特殊性ヲ形成スル數多ノ規定ヲ包藏シテオル

一、支那軍隊排除條項

支那軍ハ天津駐屯外國軍隊ノ駐屯地域ヨリ二十支里外(日本里約三里半)ニ駐留スル(コノ規定ハシバシバ犯サレテ來テオルガ嚴存シコレニ更ニ梅津・何應欽協定ニヨツテ支那中央軍ハ河北省内ニ入レナクナツテオル)

二、駐屯軍ノ彈壓治罪權

北清事變ニ關スル最終議定書ニアル北寧沿線ノ外國軍隊ノ駐兵權ヲ

認メ、外國軍隊ノ駐屯地域内ニオケル彈壓治罪權ヲ認メ、鐵道線路  
電信線、外國人及ピソノ所有物ニ對シ支那人ノ加ヘタ犯罪ニ對スル  
一切ノ處分權ハ當該外國軍側ニアル旨規定シテオルガ、コレヲ具体  
的ニ擴充シモノデ外國軍隊ニ使用サレル支那人ノ犯罪處分ハ當該  
外國軍側ニアリ、北寧沿線二哩ノ距離ニ置スル裁判權ハ管轄外國軍  
側ニアルトシテオル

カクノ如ク北支特殊性ヲ形成スル條約ハ極メテ多ク複雑シテオルガ、支  
那側ハ從來コレヲ諸協定ヲ遵守セズ常ニ協定違反ヲ繰返シ最近ハ特ニ甚  
ダシイモノガアリ特ニ滿洲國成立以來ハ國防上、經濟上一層深刻ニナツ  
テオルワケデアル

以  
上

0053

40 41





陸  
軍

借入 書目

一 ホツブコルレ氏寫真機一個正ニ

借入 申候

昭和十二年七月二十三日

橋本源治郎



松井機南長殿

0055

42

# KASHIMURA & CO. PHOTO SUPPLIES.

14, Asahi Road, Japanese Concession,  
TIENTSIN CHINA.



櫛  
村  
洋  
行

天津日本租界旭街一四號四面鐘

電話二〇〇七五

Inv. No. \_\_\_\_\_

橋本 様

CABLE ADDRESS

"Kashimura" Tientsin

CODE USED

Bentley's A. B. C. 5th 6th Edition

PHONE No. 20075

Sent By \_\_\_\_\_

Tientsin, 22nd July 1937

	ネップコル EING-F 3.5 6x6	1.	74 80
	ネップ 4-7	1.	5 00
	7979 Tinn 120	1.	69



80 49  
0056 43